

土木研究所が
森林総合研究所を視察

平成28年9月2日に国立研究開発法人土木研究所の魚本健人理事長、野口宏一理事ら13名が当所を視察しました。当日は、大会議室において森林総合研究所及び土木研究所の最近の研究成果等について、互いに簡単に紹介した後、シロアリ飼育室、SIPリグニン製造施設、木質構造第2実験棟を見学していただき、最後に意見交換会を行いました。

施設見学では、シロアリを離れたところから検知する技術や、これまで未利用だったリグニンを高性能コンクリート混和剤等に利用する技術、CLTや大断面集成材にも対応可能な世界最大級の木材用引張試験機をご覧いただき、それぞれの研究や応用の可能性等について活発な質疑応答がありました。また、最後の意見交換会において、今後も積極的に情報交換や連携を進めていくことを両理事長で確認したところです。



魚本土木研究所理事長の挨拶



世界最大級の試験機を視察する
土木研究所の方々

林木育種センターにおいて
第21回「親林の集い」を開催

森林総合研究所林木育種センター(日立市)では、10月22日(土)に第21回「親林の集い」を開催しました。地域住民を中心に約900名もの方々に来場いただきました。

集いでは、林木育種センターの研究成果の紹介、場内施設探索ツアー、森の迷路、森のクイズラリー、草木染め、木の工作、苗木プレゼント等の林木育種センターが行う企画のほか、保育園による鼓笛隊や和太鼓、中学校による吹奏楽もあり、林木育種センターと地域の方々との合同によるイベントとなりました。

本年度は林木育種のみならず、広く森林・林業への理解を得られるように、林野庁の広報誌「林野」でもおなじみの「お山ん画」のイラスト展を行い、作者の平田美紗子さんにイラスト作品の解説を行っていただきました。

さらに、関東森林管理局茨城森林管理署、森林総合研究所(本所)、同森林保険センター、同森林整備センター、森林ボランティア常陸の森クラブからも出展していただき、多くの方々に木材工作など木に親しんでもらうこともできました。



中学校による吹奏楽の演奏



平田美紗子「お山ん画」
イラスト展

ダイバーシティ・サポート
オフィスの事務局

2016年9月5日に開催されたダイバーシティ・サポート・オフィス(DSO)総会において、森林総合研究所(森林総研)が事務局となること、桂川理事が会長に就任することが決まりました。

DSOは、研究・教育機関を構成員として、連携して男女共同参画をはじめとするダイバーシティを推進しています。2007年に発足したDSOは事務局と会長は産業技術総合研究所が担当し、当初から参画した森林総研は物質材料研究機構とともに、幹事機関を務めてきました。現在は18機関が参加しています。主な活動内容は、各研究機関のセミナーの紹介、毎月のニュースレターの発行、他機関の取組についての情報収集と比較・分析、DSO懇話会の開催などです。職員が働きやすい職場環境を目指して取組んで参りますので、今後とも、森林総研のダイバーシティ推進に一層のご協力、そして自らのご参加をお願いします。



会長就任の挨拶をする桂川理事

平成28年度 公開講演会 「2050年の森 未来の森をつくる研究開発」

10月27日（木）13時30分～16時30分、ヤクルトホール（東京都港区）において、平成28年度公開講演会を開催しました。今年度は「2050年の森 未来の森をつくる研究開発」をテーマに、講演とポスターセッションを行いました。森林総合研究所では2008年度に作成した「2050年の森」を本年度大幅に改訂し、新たに研究開発の目標とロードマップを掲げました。公開講演会では、新しい「2050年の森」を構成する「森とくらす」「森をまもる」「森をそだてる」「森をつかう」の各項目について研究のロードマップを示しながら、「未来の森」づくりに向けた研究開発の現状を報告しました。

講演プログラム

1. 基調講演「森を活かし、木を活かし、人を活かす」
東京大学教授 林政審議委員会 長 鮫島 正浩 氏
2. 「2050年の森」について 理事 田中 浩
3. 「森とくらす」 立地環境研究領域 土壌資源研究室長 石塚 成宏
4. 「森をまもる」 四国支所流域森林保全研究グループ長 長谷川 元洋
5. ポスターセッション
6. 「森をそだてる」
植物生態研究領域
物質生産研究室
主任研究員 壁谷 大介
7. 「森をつかう」
木材改質研究領域
チーム長 石川 敦子

会場には、一般の方々をはじめ、関係団体・企業、大学・研究機関、行政機関など200名を越える方々にお越しいただきました。大盛況の開催となりました。



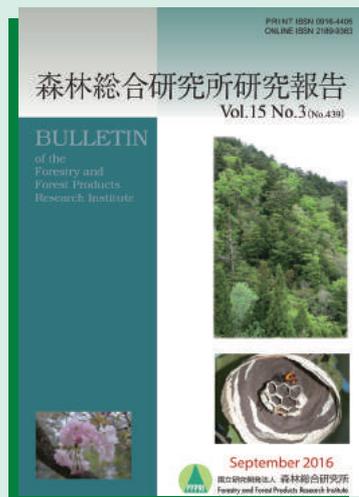
ポスターセッションの様子



登壇者の記念撮影



森林総合研究所研究報告



Vol.15No.3 (通巻439号)
2016年9月
<https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/bulletin/>

論文

CLT用スギフィンガージョイントラミナの加力方向による曲げ強度性能の違い

小木曾 純子、井道 裕史、長尾 博文、原田 真樹、加藤 英雄、宮武 敦、平松 靖

海岸防災林復旧・再生事業における生育基盤盛土の現状

―事業着手初期の未耕起盛土の物理性および盛土への各種耕起工が土壌硬度鉛直分布に及ぼす効果の評価―

小野 賢二、今矢 明宏、高梨 清美、坂本 知己

ノート

サーモグラフィを用いたコガタスズメバチ創設女王による抱卵行動の観察（英文）

牧野 俊一

研究資料

現存する「立田山ヤエクチナシ」の由来および特徴

宮崎 真、金谷 整一、河原 畑濃、松永 順、松永 道雄